

奥州市地域公共交通計画（第4次奥州市バス交通計画）に係る意見公募（パブリックコメント）実施結果について

(1) パブリックコメント（意見公募）手続きの実施概要

- ア 意見募集期間 令和6年1月25日～令和6年2月13日 ※計画（素案）公表日は意見募集期間初日に同じ
- イ 閲覧場所 市ホームページのほか市役所政策企画部政策企画課公共交通対策室、各総合支所地域支援グループ
- ウ 意見を提出できる方 市内に在住、勤務、通学している方
- エ 意見の提出方法 住所・氏名・電話番号等を明記し、①郵送 ②ファックス ③電子メール ④持参 のいずれかの方法による

(2) 意見の提出状況 提出者3名、意見数13件

(3) 意見への対応区分と件数

- A：計画へ反映させるもの（計画推進の段階で反映させるもの）：5件
- B：計画同趣旨あるいは記載済のもの：3件
- C：計画等に反映させないもの：2件
- D：その他要望・意見・感想等：3件

(4) 意見とそれに対する検討結果等

No.	ページ	意見（パブリックコメント）	検討の結果及びその理由	対応区分
1	P38 ～	各種のアンケートの結果で図表が作られていますが、実施時期、対象者、質問項目、手法等、資料として挙げていないのはなぜでしょうか。新参者なので分かりませんがいつもこういう作りなのでしょうか。参考資料がないと信頼性に欠ける気がします。	課題の根拠としてアンケート結果を掲載したことから、記載がもれておりました。ご意見のとおり追記いたします。	A 計画へ 反映さ せるも の
2	P46	図が左右に並べてあるが小見出しがないので何を示しているのか不明ではないか。	左側が「路線バス」、右側が「市営バス・コミュニティバス」の調査結果になります。ご意見のとおり追記いたします。	A 計画へ 反映さ せるも の

No.	ページ	意見（パブリックコメント）	検討の結果及びその理由	対応区分
3	P46	<p>路線バスでは上位3項目、市営バスでも上位2・4・5項目に位置する「運賃が高い」「バスの運行が遅れる時がある」「帰宅する時間帯が運行時間と合わない」に対する施策がないのはなぜか？</p> <p>「運賃が高い」に関しては、燃料費高騰・2024年問題・運転士の待遇改善などすぐには解決できないが、一部でも市が運賃を補助して、利用者が一時的にでも「安い」と感じられる施策を行うべきである。</p> <p>P89の目標3施策26「公共交通に関するイベント等を開催」と関連させて、遠野市の「ニコニコバス制度」のように、曜日限定でバスの運賃を奥州市内で一律にするなどのイベントはどうか。定期的なバスの利用促進や、身近に感じてもらうためのPRにもつながると考える。</p>	<p>「運賃」につきましては、高齢者へは移動支援、学生へは子育て支援という観点から、施策1に掲げるように運賃補助（割引）の実施を検討してまいります。</p> <p>また、利用促進イベントにつきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>	A 計画推進の段階で反映させるもの
4	P46	<p>「バスの運行が遅れる時がある」に対する一つの対策として、始発地での定刻発車があると考えます。首都圏の路線バスは起点となるバス停で3分～5分程度停車して、乗車や案内を行った後で発車する。岩手県内では、事業者や運転士にもよるが、定刻ちょうど又は定刻を過ぎてから、起点となる停留所につけることが多い。遅延して折り返しなどであれば仕方ないが、回送でやってくるのに遅れてくるのは理解しがたい。始発の時点で定刻から遅れていれば、その後の運行が遅れるのは当たり前である。運行の遅れを改善するため、起点の停留所には数分前までにはつけて乗車扱いをすることを事業者に要望してほしい。</p> <p>また、胆沢病院や水沢駅通りなどバス停車スペースが確保されている場所は良いが、水沢駅前バス停車スペースが1台しかなく、先発の通過待ちや後続の到着などで数分もバス停に停車できないこともあろう。水沢駅前停留所のバス停車スペースの拡大整備を提言する。</p>	<p>バスの遅延につきましては、停留所のスペースの関係で難しい場所もありますが、事業者にお伝えいたします。</p> <p>なお、令和6年2月からバスロケーションシステム「バス予報」を導入し、スマートフォン等で遅延も含めたリアルタイムの運行状況確認が可能となりました。皆さんにご利用いただけるよう「バス予報」の周知も十分に行ってまいります。</p> <p>水沢駅前のバス停車スペース拡大につきましては、水沢駅前広場（ロータリー）を安全に利用いただくのに十分なスペース確保が難しく、交通事故防止の点からも整備は厳しい現状です。</p>	D その他要望・意見・感想等
5	P46	<p>「帰宅する時間帯が運行時間と合わない」については、具体的にどの時間帯に需要があるのかニーズを調査することを「目標1-1：市域内・外における幹線・支線となる公共交通の維持・確保」に施策として加えてみてはどうか。</p>	<p>施策1に掲げる運行見直しについて、計画へニーズ調査の記載ありませんが、これまでの見直しはニーズを把握したうえで行っており、今後も同様に実施してまいります。</p>	A 計画推進の段階で反映させるもの

No.	ページ	意見（パブリックコメント）	検討の結果及びその理由	対応区分
6	P51	<p>【基本方針 3】</p> <p>「将来運転できなくなった際の移動手段としての役割」とあり、これが「公共交通に対する市民の意識醸成を図ることが必要」に繋がるものと思われます。</p> <p>「将来」がそれぞれの方のイメージなので具体的にいつを指すかは分かりませんが、今現在、漠然とした不安を持たれるのはロールモデルが見えないからではないかと考えます。身近なお年寄りが安心して満足した暮らしをしているように見ればこのような不安を持つことが少ないのではないかと思います。各種のアンケート結果が載っていますが、高齢者と一括りにしてあり顔が見えてきません。市長が「住み続けたくなるまちづくり」とスローガンを掲げていますが、今暮らしている人を大切にできずに何の掛け声でしょうか。役所が上から施策を降ろす前に人生の先輩に聞いてみることで、それを発信することが次のヒントになるのではないかと思います。</p>	<p>地区内交通導入時には地区に出向いて説明を行い、必要に応じて、利用者宅を訪問し説明を通じて不安の解消に努めております。</p> <p>ご意見の情報発信につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>	<p>D</p> <p>その他 要望・ 意見・ 感想等</p>
7	P68	<p>【鉄道駅における鉄道⇄バスの接続性改善】</p> <p>前沢駅における路線バスと JR 鉄道の乗り継ぎについて、現状は前沢駅付近に停車するバスは、東口ロータリー乗り入れの「星空号」（平日のみ 4～5 便）と、前沢駅口の「美希病院線」（日月運休、3 便）のみである。また前沢地区には「ハートバス」も運行しているが、平日のみ 8:00～15:00 の運行で、これらはいずれも通勤・通学には使えない。</p> <p>そこで、前沢の町内を循環するようにルートが設定されている、岩手県交通「水沢前沢線」で、「向田」と「イオン前沢店」の間に「前沢駅東口」に乗り入れてみてはどうか？前沢町内の年配者が鉄道へのアクセスをしやすくなるほか、近隣には前沢高校や前沢明峰支援学校などの教育機関もあり、その生徒が「前沢高校前」や「母体口」から「前沢駅」までバスが利用できるのであれば、特に降雨時や冬季間は通学に利用が見込まれるのではないかと考える。</p> <p>時刻に関して、例えば以下の案のように若干の繰り下げや繰り上げを行うと、現行便数でも JR への接続が改善されると考える。</p> <p>以上、前沢周辺の通勤・通学の利便性向上のため、水沢前沢線の前沢駅乗り入れと、JR に接続したダイヤの改正を提言したい。</p>	<p>前沢駅東口へのバスの乗り入れにつきましては、バス事業者とともに実施に向けて検討してまいります。</p> <p>ダイヤ改正につきましては、施策 4 及び 8 に掲げるように乗り継ぎに必要な移動時間を確保しながら見直しを進めてまいります。</p>	<p>A</p> <p>計画推進の段階で反映させるもの</p>

No.	ページ	意見（パブリックコメント）	検討の結果及びその理由	対応区分
8	P69 ～	使用している他自治体の画像の典拠、日付等詳細がなく、またなぜこの画像を使うのか意図の説明もなく、奥州市にそのまま導入できるものかも不明。しかも P.69.71 はすでに奥州市で動いている「〇〇号」でもないのが疑問。今動いている「地域交通」に思い入れはないらしいと感じる。	各施策をイメージしやすいように先進地事例を掲載しております。 P69、71 は従前の地区内交通とは異なる事業になりますので、別の画像を使用しております。	C 計画等に反映させないもの
9	P73	すべての答えがここにあると見える画像。ほとんどが男性でこれで地域住民の意見が反映できるものとする根拠は何か。	施策9は事業者間・モード間の連携に向けた関係者協議でありますので、性別に関わらず事業者や関係団体の代表による協議の場を構築しようとするものです。	D その他要望・意見・感想等
10	P77	<p>【施策14 キャッシュレス決済】</p> <p>キャッシュレス決済の理由に「利用者の利便性向上」とあるが、一概にそう言い切ってもよいのだろうか？ P46 のデータでは市営バスよりも路線バスに対して一定の要望はあるようだが(若者や首都圏からの流入者など)他の不満・不便項目に比べると数値は多くはなく、優先度は低いのではないかと思う。</p> <p>現在バスを利用している高齢者はそもそも IC カードを持っておらず、既存のバスカードから IC カードへのシステム変更で多くの混乱が生じる。IC カードを先に導入した盛岡・花巻・北上エリアでも、「バスカードで良かったのに」「車内で買えるから便利だったのに」と乗客の不満やお年寄りの混乱を直に見てきた。また、IC カード導入にかかるコストも膨大である。</p> <p>利便性を上げていくのは当然で、いずれはシステムの老朽化もあるので IC への移行は必要だとは思いますが、「円滑な支払方法の導入」ではなく「導入を検討する」「準備を進める」くらいでとどめておいてはどうか。</p> <p>それよりも、路線や便数確保のための運転士確保・待遇改善の方に予算や人員を優先してほしい。</p>	<p>バスカードも使いやすい物ですが、機器の老朽化に伴い、バス事業者は、順次 IC カードへ移行しているところです。</p> <p>また、本計画で、学生及び高齢者の利用者を増やすことを目指しておりますので、学生の利便性を上げる点からも、導入を進めようとするものであります。</p> <p>なお、高齢者の IC カード利用につきましては、事業者と共にサポートしてまいります。</p> <p>運転士確保等については、事業者とともに取り組んでまいりたいと考えております。</p>	C 計画等に反映させないもの

No.	ページ	意見（パブリックコメント）	検討の結果及びその理由	対応区分
11	P79	私は佐倉河線を利用しています。車はありません。体にふらつきがあり、つえを使っています。病院（さくらクリニック、大手町歯科）、買物（ユニバーズ、マイヤ）、奥州市役所等にZバスを利用しています。低料金で移動出来るので大変ありがたいです。今後、ガソリンの値上りで、バスを利用する人が増えるのでは、と個人的には思っています。 バス停で立って待っているのはつらいので、イスがあれば・・・と思っています。冬、雪が積っている時、バス停の回りは除雪されてなく、不便です。	すべてのバス停とはなりません、施策16に掲げるように主要なバス停の環境改善に努めてまいります。	B 計画同趣旨あるいは記載済のもの
12	P87	もっとバスを利用してもらうため、職場や学校に向けたパンフレットを作ってはどうでしょう。	施策23、24のとおり乗り方教室等で利用促進を実施してまいります。	B 計画同趣旨あるいは記載済のもの
13	P88	今の時代、親が子供の送迎をしているのが当たり前の光景です。ひとつの家族で車2台以上があたりまえなのです。もっともっとバスの良さをアピールしていかれば良いと思います。会社なのでから利益が出ないと。	公共交通の維持には利用者増は欠かせません。施策25、26の情報発信やイベントを通じてバスの良さをお知らせし、マイバス意識の醸成に努めてまいります。	B 計画同趣旨あるいは記載済のもの